

集会案内

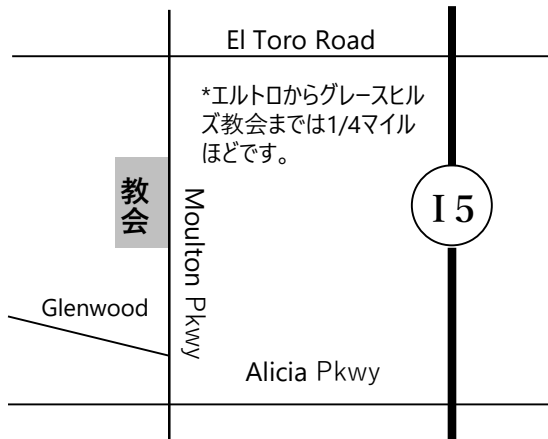
毎日曜日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月 1 回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
1 0 : 3 0 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第 1 バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13 年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinihongokyoikai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎ 『石叫』 「あらゆるものが膝をかかめ」
今回は『リバイバル』（日本ホーリネス教団、二〇一九年一月号）で島津吉成
教団委員長の記事から引用させていただく。私たちに気づきを与える内容だ。
ピリピ教会は、教会員のユウオデヤさんとセントケさんという二人の間が、気
まづくなっているという問題を抱えていました。また、党派心や虚栄、つまり自
己中心や高慢という問題も抱えていました。教会の中で、どうしてこんなことが
起きるのだろうかと思ってしまうことがあります。地上の教会は完成した神の
国ではなく、完成を目指した「途上」の教会ですが、さまざまな問題や課題を
抱えつつ歩むのです。そして、問題や課題に取り組むことを通して、お互いに愛
を学び、きよめられていくのだと思います。ですから、問題が生じたとき、「主
はこのことを通して、私に何を教えてくださっているのだろうか、と受け止める
ことができたなら、大したものだ」と、自分に言い聞かせています。
さて、パウロはピリピ教会で生じている問題への対処法として、単なる人間関
係の調整という方法は取りませんでした。「あらゆるものがひびをかかめ、『
イエス・キリストは主である』と告白する』（ピリピ二・11）ようにと導いて
いるのです。人間関係がこじれる場合の多くは、「自分が主となっている」とい
うことからくるのではないかと思えます。もっと言うと、自分のプライドにこだ
わるということです。ですから、プライドが傷つけられると、我慢できない。人
間関係も壊れていきます。そこでパウロが勧めているのは、自分へのこだわりを
捨て、主イエス・キリストの前に共にひざまずこう、ということなのです。

残念ながら教会の中において、さまざまな人間関係で問題が生じることが少な
くない。僕はこれまで幾つかの教会を牧らせていただいたが、その多くの場合、
ここで指摘されたように、問題となったのは、やはりプライドであった。つまり
、自分にしがついていいることが原因である、そのためには神の前にて、神の
お言葉によって自分の心に気づきを与えてもらうことが必要である。これが聖書
の答えだからだ。そのとき、人は素直になり、問題の相手でも受け入れることが
できる。要は、あなたが神の前に出ていいるかどうかなのだから

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。